

子育て家庭の負担を減らし、若い世代が将来を描けるまちへ

医療費助成DXから合計特殊出生率の維持と雇用確保の取組へ

子育てしやすく、働き続けられる飯塚へ

医療・子育て・雇用を切れ目なくつなぎ、転入・定住促進へ広がります。

入口：医療費助成DX

令和8年4月1日から、システム導入済の医療機関・薬局でマイナ保険証による資格確認に対応。



本題：子育て・少子化対策

合計特殊出生率の維持を支える
経済的支援・共働き支援・将来設計支援。



広がり：雇用と定住

企業誘致による働く場づくりを
転入・定住促進へつなげる。

①マイナ保険証で医療費助成の資格確認ができるようになりました

ポイント：保護者の受給者証忘れ・紛失リスクの軽減、医療機関の事務効率化

4/1開始

子育て負担軽減

若い世代に選ばれる

マイナ保険証で医療費助成の資格確認ができるようになりました！

＼ ここがポイント ／

飯塚市の医療費助成(子ども、ひとり親、重度障がい)受給者情報を国の情報連携基盤(PMH)と連携したことで、マイナンバーカード一枚で県内医療機関・薬局の受診等ができます。⇒令和8年4月1日から

※ただし、マイナ保険証で医療費助成の資格確認ができるのは、システム導入済の医療機関に限ります。

- 今まではマイナ保険証と、紙の医療費助成受給者証を医療機関の窓口に表示していたが、マイナ保険証を持参するだけで良くなります。受給者証忘れ・紛失リスクが軽減します。
- 医療機関では、手動入力の負荷軽減と、正確な資格情報に基づき請求が行えるため事務効率化や償還払いの事務が減少します。
- 紙の医療費助成受給者証も引き続き利用できます！

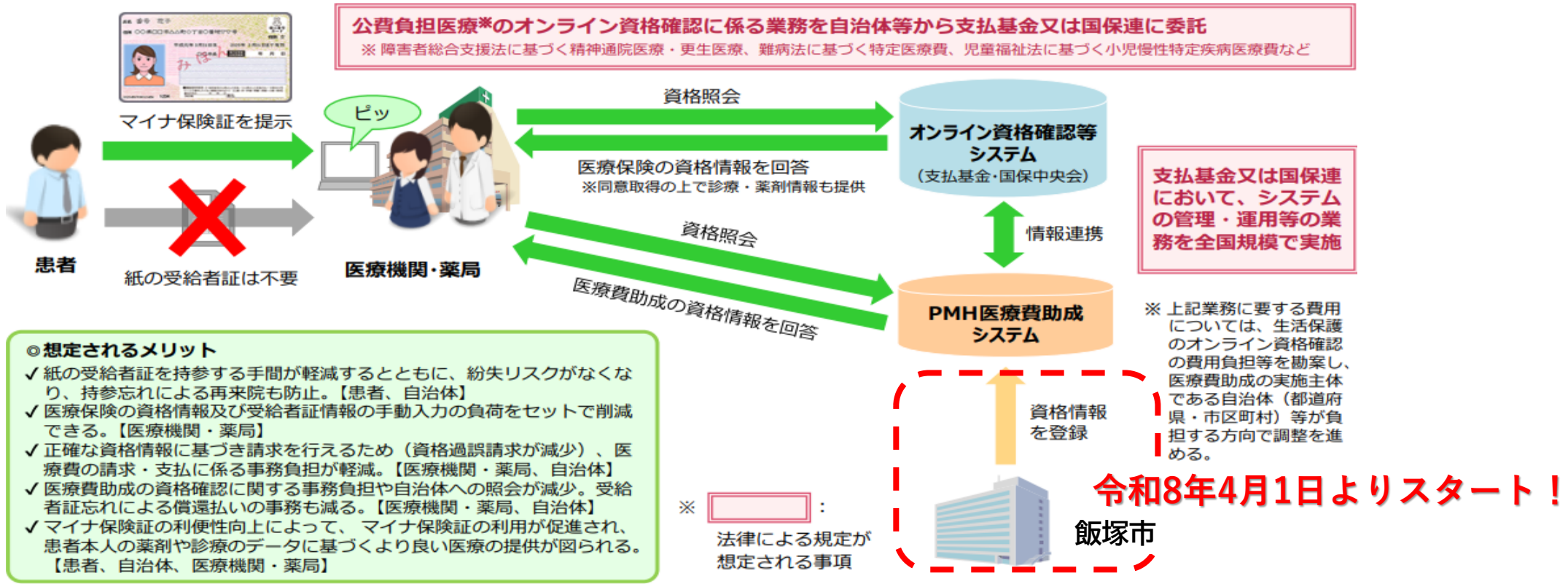
事業の目的・概要

国が進める自治体・医療機関をつなぐPMH(Public Medical Hub)との連携により、マイナンバーカードを活用した医療費助成（地方単独医療費助成）の分野におけるデジタル化の取組を推進し、事務の効率化・質の向上を図ります。

本市はシステム改修により、地方単独医療費助成（子ども医療、重度障がい者医療、ひとり親家庭等医療）受給者証情報と、PMH（※）を連携したことで、マイナンバーカード一枚で医療機関・薬局の受診等ができる環境整備を行いました。

医療機関等の窓口で、マイナ保険証による医療費助成の資格確認をするためには、医療機関等でもシステム導入が必要です。

※PMH：デジタル庁が開発した自治体向け医療費助成分野、予防接種・母子保健分野を対象とした情報連携基盤。



一つの手続き改善から、子育て支援全体へ

医療費助成DXは、飯塚市が進める「子育てしやすい環境づくり」の入口

医療費助成DXで変わること

- ・マイナ保険証で資格確認（導入済機関）
- ・紙の受給者証も引き続き利用可能
- ・受給者証忘れ・紛失リスクを軽減
- ・医療機関の入力・請求事務も効率化

「便利になった」から、
「安心して子育てできる」へ



子育てしやすく、働き続けられる飯塚へ

1.46

合計特殊出生率
R5→R6で維持

15社

企業誘致
R元～R7

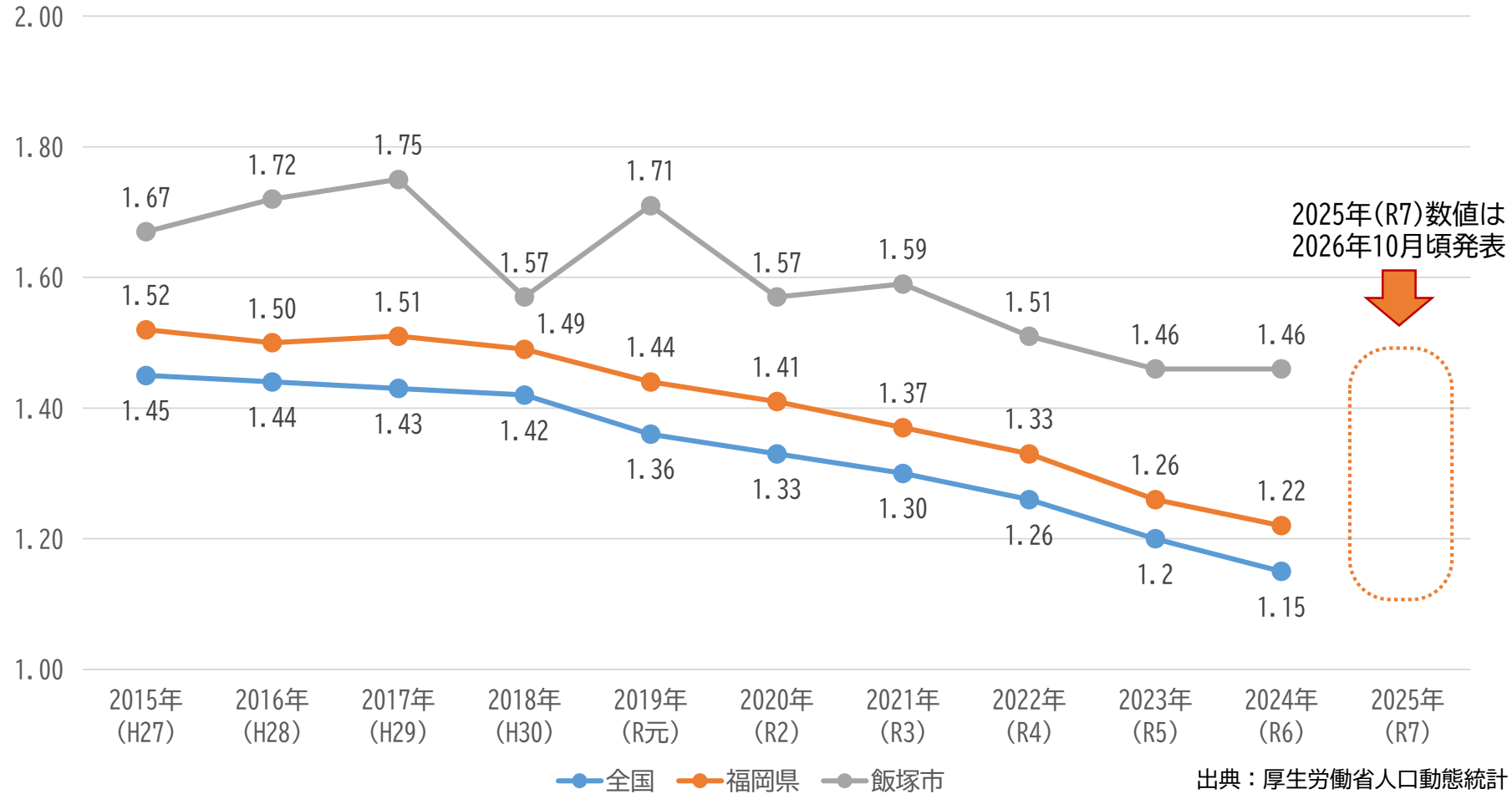
1,972人

新規雇用
R元～R7

未婚・晩婚化、出生数・婚姻数の減少を踏まえ、
「第2子以降を育てやすい環境」「共働き支援」
「働く場づくり」を一体で説明。

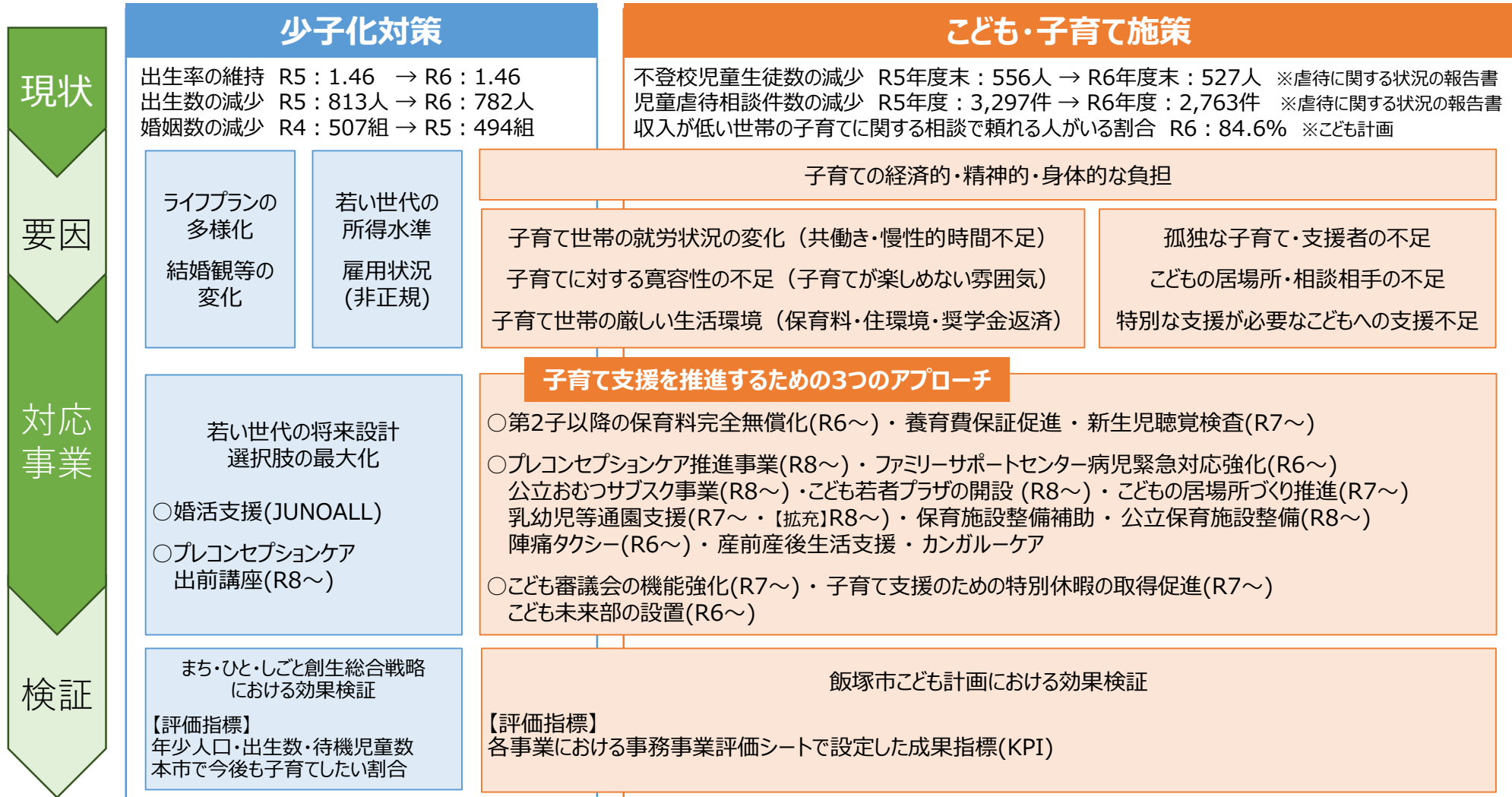
②こども政策の全体像

飯塚市の合計特殊出生率の推移について



未婚・晩婚化のなか、合計特殊出生率の維持には、
第2子以降を生むことが可能な環境づくり、共働き支援が重要！

飯塚市のこども政策の全体像



目標

2060(令和42年)に人口10万人の実現 ～人が輝き まちが飛躍する 住みたいまち 住み続けたいまち～

PRESS RELEASE

近畿大学九州短期大学で「プレコンセプションケア出前講座」開催
保育科1年生等が、妊娠前の健康管理やライフプランの重要性を学ぶ

令和8年(2026年)6月10日(水)開催! ぜひ取材にお越しください。

令和8年(2026年)6月10日(水)近畿大学九州短期大学において、保育科1年生等を対象とした「プレコンセプションケア出前講座」を開催します。

こどもに関わる仕事(保育士)を目指す若い世代に、性や妊娠に対する知識の啓発やライフプランを考える機会をつくり、プレコンセプションケアを推進します。



講師 道園亜希氏

講師 道園亜希氏

助産師・包括的性教育講師・デートDV専門相談員
福岡県助産師会包括的性教育委員会委員長
総合病院産婦人科、大学教員として大学勤務を経て、出張専門助産院を開業。

性教育を実践・研究し続けて17年目になる。
現在は、幼児～大学生、保護者、教員、専門職等、幅広い対象者に、人権(自分を大切にすること)をベースとした包括的性教育の取組を年間140件ほど実施している。

内容

今回開催する「プレコンセプションケア出前講座」では、令和6年(2024年)4月に福岡県が開設したプレコンセプションケア専門相談窓口「福岡県プレコンセプションケアセンター」と連携し、助産院唯院長 道園亜希氏にご講義いただきます。

プレコンセプションケアとは、「妊娠前の健康管理」のことで、プレ「～の前の」コンセプション「受精・懐妊」を意味します。近年、思春期以降の過度なダイエットが影響して、低出生体重児の割合が増加傾向にあることや、出産の高齢化などにより、妊娠や出産について早い段階から正しい知識を持ち、自身の健康状態に向き合うことが重要視されています。将来、保育士を目指す若い世代を対象として、妊娠する・しない、年齢や性別に関わらず、思春期から生殖可能な年齢にあるすべての人々の健康に必要なプレコンセプションケアを学び、自分の健康状態と向き合い、保育士としてのキャリアデザインやライフプランを考える機会とします。

開催概要

- 日時 令和8年(2026年)6月10日(水) 10時40分～12時10分
- 場所 近畿大学九州短期大学(飯塚市菰田東1丁目5番30号)
- 講師 助産院唯 院長 道園亜希氏
- 対象 近畿大学九州短期大学 保育科1年生等
(出前講座実施主体:福岡県)

お問い合わせ先

飯塚市こども未来部こども若者支援課
(担当:大里・田中)

☎ 電話番号:0948-96-8236

✉ メール:kodomowakamono@city.iizuka.lg.jp

近畿大学九州短期大学
(事務部 惣門・吉岡)

☎ 電話番号:0948-22-5726

✉ メール:kjcshomu@kjc.kindai.ac.jp